

## 「新規就農スタートアップ支援事業」 活動事例紹介 小原礼士さん(北上市)

北上地方農林業振興協議会 中部農業改良普及センター 藤原 敏

露地アスパラガスを2年前から栽培している小原礼士さんが「新規就農支援スタートアップ支援事業」を活用して、マルチスプレーヤー(歩行型防除機)を令和2年7月に導入しました。

7月22日(水)の梅雨の合間に自宅付近のアスパラ圃場で防除作業を終えた小原さんから、今回導入した防除機について感想をいただきました。「以前までの防除作業では、軽トラの荷台に動力噴霧器とホースを載せていました。作業時間は水の補充も含めると4~5時間と半日作業でした。今回導入した自走式防除機は、作業時のホースのからまり、回収等のわずらわしさから解放され、同じ面積でも作業時間が3時間を切るようになりました。防除作業の時間短縮により、余った時間を間引き作業等の他の作業に充てる事ができるため、防除作業に取り掛かる時のモチベーションが上がりました。」と話され、歩行型防除機による作業効率の向上を肌で感じている様子でした。

露地アスパラガスの今後の営農に向けた抱負として「効率的な防除作業の実現により、昨年9月に発病した茎枯れ病や斑点病を今年からは抑え、次年度以降の春先の出芽割合を増やしていきたい。」と収量拡大への期待を話しておりました。今後、当地域のアスパラガス生産者の中心的な担い手になる事が期待されます。



露地アスパラガス防除作業中の様子



小原礼士さんとマルチスプレーヤー(新品)